

20 期 科目選択について—進路の実現に向けて科目選択のアドバイザー—3 年生になって困らないために—

【1】基本となる考え

進路実現のための科目選択 → 「進路別に、それぞれ必須科目がある」ことを早く理解しておく
→遅れると不利に。

【2】高校卒業後は…

(1) 進路を決めるとは？

①将来、どの分野で自分を生かそう(職種・仕事)と真剣に考えるか？(営業・事務・技術など)…最重要事項
「とりあえず進学する」はできない！→『何を学ぶか』を決めないと進学できない。

②進路を決めるときの考え方

(a)自分が興味を持てる分野をまず考える

試験の点が「良いか悪いか」というだけの判断ではなく、「好きか嫌いか」という判断。

好きでないと頑張れない。自分の責任で最後に判断するときの、よりどころ(根拠)になる。

(b)自分にその分野で仕事をする能力・適性があるかどうかを考える

自分だけで結論を出すのが大変難しい。定期試験の点も参考になる。

判断できないときは、しばらくその分野に進むつもりで必死に勉強してみることも一つの方法。

(c)以上のことについて第三者の意見を謙虚に聞く

上記(a)・(b)は『自分が一番よく知っている』と思うのは危険！大切なことは、「自分が知らない事が世の中にたくさんある」「その中に自分が一番興味を持てる事があるかも知れない」、そして「そのことを君たちが尋ねれば教えてくれる人が周りにいる」ということをしっかりと覚えておこう。

③今から(夏休みに！)しておくこと → 夏休み課題「科目選択につなぐ大学入試科目調べ」

(a)自分の進路に関する正確な情報の収集→ネット情報は表面的、誇大広告、ウソもある。

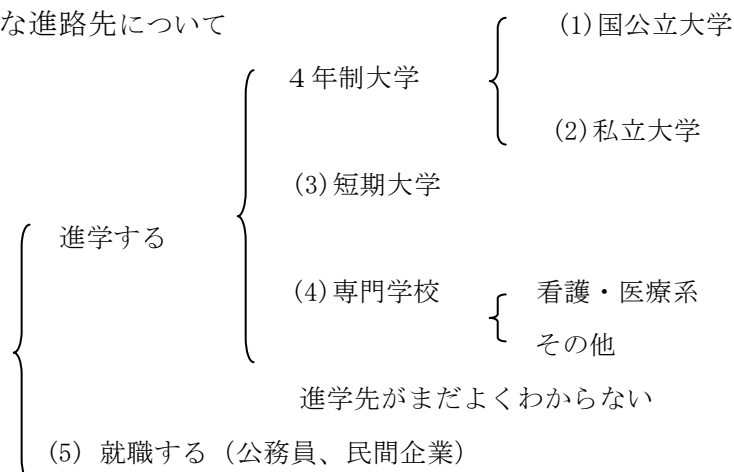
これまでの配布資料、夏休みの課題、進路希望先のホームページ、
オープンキャンパス・大学説明会での体験・情報、在校生・OBの声、進路指導室での資料閲覧 etc

(b)希望分野に詳しい人から話を聞き、相談する

教科の先生、担任、大学・短大・専門学校の関係者、保護者 etc

(2) 具体的な進路先について

卒業後は？



【3】それぞれをひとつずつ見ていくと…

(1) 国公立大学に進学する場合～文系・理系を問わず**センター試験** に対応できる科目を選択しておく。

《センター試験の科目》…最大で**6教科9科目**受験

			文系受験	理系受験
教科	グループ	出題科目	必要な科目数	
国語		「国語」 (漢文・古文を含む) 200点	1科目	1科目
地理・歴史		「世界史A」「世界史B」「日本史A」「日本史B」 「地理A」「地理B」 各100点	2科目	1科目
公民		「現代社会」「倫理」「政治・経済」「倫理、政治・経済」 各100点		
数学	①	「数学Ⅰ」「数学Ⅰ・数学A」 100点	1科目	1科目
	②	「数学Ⅱ」「数学Ⅱ・数学B」 100点	1科目	1科目
理科		「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」 基礎科目2科目で100点	1または 2科目	2または 3科目
		「物理」「化学」「生物」「地学」 各100点		
外国語+リスニング		「英語」 (200点) + リスニング (50点)	1科目	1科目

※各大学は、大学・学部ごとに**センター試験の受験科目を決めている**ため、個別に自分で調べる必要あり。

地理・歴史の**A科目**、**数学**の「**数学Ⅰ**」「**数学Ⅱ**」、**理科**の「**～基礎**」科目では受験できない場合がある。要注意！

全員履修する科目：古典B(3)、現社(2)、体育(2)、保健(1)、コミュニケーション英語Ⅱ(3)、英文法(3)に加えて

(a)文系…センター試験に向けて、**地理・歴史はB科目を**、「**数学Ⅱ - 文**」「**数B - 文**」は必ず選択する。**理科**

は「**～基礎**」科目が**2科目必要**。(基礎なし科目は難易度が高いのですすめない)

センター試験科目以外に、各大学の**2次試験**(主に国語・英語、経済学部はさらに数学)に対応できるように科目選択をする。→**2年次**、国語は「**現代文B**」を必ず選択。「**英作文**」も選択する。

(b)理系…センター試験で、**地理・歴史**が**公民**から**1科目選択**できるようにしておく。**理科**では「**基礎なし科目**」

が**2科目必要**となるため、2年で「**化学**」+「**～基礎**」+「**科学と人間生活～**」を選択する。また、工学関係(建築含む)は入試科目の指定(**物理・化学**など)がある場合が多い。

センター試験科目以外に、各大学の**2次試験**(主に**数学・理科・英語**)に対応できるよう科目選択をする。

数学は「**数Ⅲ**」まで必要なので、「**数学Ⅱ - 理**」+「**数学B - 理**」を選択する。「**現代文B**」は必ず、できれば「**英作文**」も選択する。

(c)看護系・環境系・情報系・国際系…大学により文系・理系の偏りがあるが、「**現代文B**」は必要。

それぞれの大学の学部・学科の内容をよく確認し、受験科目を確認した上で、上記(a)・(b)に対応した科目選択を考える。

(2) 私立大学を受験する場合 (一般入試に関して)

(a)文系…入試科目対応として、「**現代文B**」「**英作文**」「**地理・歴史のB科目**」を中心に選択。

経済学部など、大学入学後に数学が必要な学部志望者は「**数学Ⅱ - 文**」「**数B - 文**」を必ず選択する。

(b)理系…入試科目対応として、数学、英語、理科を中心に選択。数学は「数Ⅲ」まで必要なので、「数学Ⅱ - 理」 + 「数学B - 理」を選択する。理科については工学部関係は大学入学後のことを考えて「物理」を含む選択をする。「現代文B」も選択する。

(c)看護系・環境系・情報系・国際系…（上記の国公立大学と同様に考える）

※私立大学の「センター試験利用入試」については9割近くがセンター試験利用の入試を実施している。

受験科目も3教科程度と少なく、センター試験利用入試での合格者数も増加中。「現代文B」は必ず選択する。センター試験受験は「国公立志望者のみ」ではない。

私立大学進学希望者もセンター試験の受験は意識しておく(受けるつもりでいること)。

(3) 短期大学を受験する場合

(a)幼児・初等教育関係…現代文、英語の科目を中心に選択→ピアノができない人は、今すぐ練習を始めておく。

(b)食 物 栄 養 関 係…現代文、英語、「化学」を中心に選択。特に「化学」の知識は必要。

(4) 専門学校に進学する場合～進学する分野によって大きく異なる

(a)看護・医療…入試に小論文・作文がある場合が多いので、「現代文B」は必ず選択。

理科は、「生物」「化学」どちらか(できれば両方)は「基礎なし科目」を履修していることが必要。

また、理学療法や臨床検査関連の医療分野は、数学や理科で入試科目の指定がある場合が多いので要注意！

(b)その他の分野…いかなる分野も、基礎学力が大切。「現代文B」は必ず選択し、社会・理科の科目も選択しよう。

(5) 就職する場合

公務員(国家・地方とも)を希望する場合は筆記選考試験があり、一般教養としてかなり幅広い分野から出題されるため、「現代文B」「日本史AかB」「地理AかB」「数学Ⅱ - 文」「数B - 文」は必ず選択する。

民間企業への就職は、採用がなく厳しい状況であるが、卒業後の生活の基礎となるような知識や教養を身につけておく必要あり。→「現代文B」、地理・歴史、英語などの科目を中心に考える。

【4】科目選択に向けて、取り組むべきこと

(1) まず自分の目標進路・志望校を第2志望までとりあえず決めてみる。(変更可)

(2) 進学後の勉強のために必要な科目、受験時に必要な科目を調べる。

(3) 本日配布するシラバスをしっかりと読んで、自分の志望にあった選択科目を考える。

(4) 志望先が決まっている場合は、インターネット、オープンキャンパス、各種相談会参加などできるだけ多くの情報を入手する。

(5) 「どうすればよいかわからない」など、不安や疑問がある場合は、先送りせず、担任・教科・教務・進路の先生などに相談する。

(6) どのような進路に対しても、もっとも必要なのは基本的学力。

普段から、計画的にしっかり学習に取り組むこと大切。毎日学習する力が進路を支える。